

音のチカラ Power of Sound

# 音で絆づくり

## 参加者の声

keyboard

**ダレン・テイラーさん**  
Darren Taylor



——音楽を演奏している時はみんな同じなので、ここでは、障がいがあるとかなんとかに関わらず、友だちを作ることができます。みんなそれぞれの人生で、いろんな問題を抱えています。一時でもそれを忘れて、友情を築ける場所が必要だと思います。私自身も老人ホームで音楽を演奏するボランティアをしています。自分の演奏でみんなが歌ったり踊ったりするのは本当に嬉しいです。

drum set

**シェビン・ウォンさん**  
Chevin Wong



——音楽が大好きなので、グループで音楽を演奏する時にいいリズムが刻めると本当に楽しいし、人生の喜びを感じられ、とても生き生きします。「僕のドラムなしではこのバンドは成り立たない」と言われた時は、自分が必要とされていると感じて、本当に嬉しかったです。このセッションに参加し始めて、自分に自信ができました。僕にとって、このグループは家族のようなものです。

djembe

**マーティン・ケーヒルさん**  
Martin Cahill



——ここに来る人々は、みんな友だちです。週に一回、このセッション来て、みんなと会うことが、私にとっての楽しみです。僕はギターは弾きませんが、ジャンベや他のパーカッションが大好きです。特に『拍手の歌』をみんなで演奏する時には、僕は木魚で参加して、楽しんでます。

## コンサート当日の様子

リハーサルの数日後、Mosman Parkにある教会の敷地で行われたイベント「Eco Fair」にて、Catch MusicのLeederville支部のメンバーが演奏しました。途中から、メンバーの一人が観客に手拍子を促すと、それに応えてお客さんたちも手拍子を送り始めました。そして、観客席の後ろの方では、音楽に合わせて身体を動かし、踊る人も。会場と一体となったコンサートは、大成功。終演後のメンバーの顔は、それぞれ心からの喜びでいっぱいでした。



(上写真) 大いに盛り上がったコンサート。ドラム奏者2人(右から2人目と3人目)も立ち上がってパフォーマンスを披露。



(右写真) 歌を歌いながら、リズムに乗って思わず身体が動き出すと、会場からは拍手が。



コンサートが行なわれた「Eco Fair」